

想定対象及び応募条件



想定対象及び募集人数

国内大学の将来の幹部候補生を対象とします。募集人数は30名程度を予定しています(短期インターンシップについては国内プログラム参加者から若干名を選考します)。



応募条件

所属大学の学長の推薦を受けたものとし、組織としての応募を必須条件とします。また、参加者本人が大学の経営人材としてのキャリアを強く意識していること、かつ、所属大学も被推薦者が本プログラムに参加することを組織として最大限支援(学内委員会等用務の免除・軽減、教育研究業務履行のための人的支援、研修終了後の人事計画等)することを要件とします。



費用負担

原則、プログラム参加者の国内外の移動・滞在等に必要な旅費・宿泊費等についてはプログラム参加者の所属大学にご負担いただきます。



詳細情報、募集要項等

本研修の詳細情報、募集要項や申請書類書式等については、以下のウェブページに順次掲載します。

<http://scirex.grips.ac.jp>

本研修実施主体について



本研修プログラムは、文部科学省の委託を受け、国立大学法人政策研究大学院大学が実施します。

事務局・お問い合わせ先



国立大学法人 政策研究大学院大学
科学技術イノベーション政策研究センター(SciREXセンター)
「大学トップマネジメント研修」担当
〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
Tel: 03-6439-6376 Fax: 03-6439-6260
Email: ttm-ml@grips.ac.jp

文部科学省「イノベーション経営人材育成システム構築事業」

大学トップマネジメント研修



目的と概要

本研修は、科学技術イノベーションを推進する主体の一つである大学の経営人材の育成を通して、我が国の大学の知的資産のイノベーションを側面的に支援することを目的としています。

本研修を通じて、多様な学問領域から構成される複雑な大学組織全体をマネジメントすることのできる経営人材を育成するとともに、確立したプログラムの国内大学への普及を通じて、我が国における全国的な大学経営システムの改善につなげることを目指します。

本研修では、大学の将来の幹部候補生を対象に、大学のトップマネジメントとして必要な知見を学ぶ国内プログラムと、グローバル競争下で大きく変化を遂げつつあるアメリカの大学マネジメントシステムを現地で学ぶ海外研修の機会を提供します。この他、ネットワーク構築など、参加者が継続的に情報交換できる様々なプラットフォームを提供します。

平成28年度 スケジュール

- 平成28年
 - 7月 参加者募集開始
 - 8月 募集締切・選考
 - 9月 選考結果通知
 - 10月 第1回国内プログラム
 - 12月 第2回国内プログラム
- 平成29年
 - 2月 第3回国内プログラム
 - 2月下旬～3月上旬 海外プログラム
 - 3月中旬～下旬 海外プログラム報告会

※この他、年度後半に短期インターンシップを複数回実施予定

大学トップマネジメント研修の3つの柱

本研修では、大学経営にかかわる基礎知識を学ぶための複数のワークショップと講義で構成された国内プログラム、アメリカの研究大学における大学経営の現場を実際に体験する海外プログラム、そして参加者が研修後も成長を続けられるようデザインされたネットワーク構築の3つの柱で、日本の大学経営人材の育成に取り組みます。

国内プログラム

大学の戦略的なマネジメント遂行に必要な基礎的な知識を提供

ワークショップと討議を通じて参加者の問題意識や経験を共有



国内の学長経験者、産業界の有識者、専門家等による講義とワークショップ

- 大学の経営戦略、戦略的財務会計、マーケティング、知的財産権、技術移転、産学連携等に関する基礎知識の提供
- 海外の大学経営のケーススタディ(経営戦略、予算配分、産学連携等)
- 海外プログラムを効果的に行うための事前学習

海外の大学トップマネジメント人材とのワークショップ



- 海外の大学トップマネジメント人材との直接対話を通じたネットワークの構築
- 海外の大学マネジメントシステムに対する理解の深化

次世代の大学経営人材の育成

ネットワーク構築

世界の大学トップマネジメント人材とのネットワーク構築

参加者、参加大学間のネットワーク構築

海外プログラム

アメリカの研究大学の現場で大学マネジメントを学ぶと共に、大学の執行部とのネットワークを構築する機会を提供



カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)における研修プログラム

- グローバルな競争と公的支援の削減という環境の中で経営・財務面で劇的な改革を行ったUCSDの経験を学ぶ
- 大学のマネジメントシステムの重要課題(経営戦略、財務、人事、産学連携等)について、UCSDの実際の取組を何うとともに担当者と議論



海外研究大学のプロボスト・オフィス等における短期インターンシップ

- 実際のプロボストオフィスの会議にプログラム参加者がオブザーバーとして参加し、大学経営の現場を見聞する機会を提供(各大学1～2名の派遣を予定)
- <派遣先大学(予定)>
スタンフォード大学、シカゴ大学、アリゾナ州立大学



海外の大学トップマネジメント人材を招聘したシンポジウム等の開催

- 海外の著名大学のトップマネジメント人材を招聘し、シンポジウムや公開セミナー等を開催
- 国際的な大学トップマネジメント人材とのネットワークの構築の機会を提供



メーリングリストによる海外大学経営事情に関する情報発信など

- 参加者や関係者に諸外国の最新の大学経営事情を定期的に配信
- この他、参加大学における自主的取組(学内研修やセミナー等の開催など)への協力を予定